

## 昭和44年手話講習会出席者名簿

氏名	住所	備考
1 柏木惠美子	市内 久比里 1~13-6	
2 高橋妙子	安浦町 1~3	
3 高橋美代子	浦賀町 7~8	
4 入江順子	林 1336	
5 長沢啓藏	佐野町 1~3	
6 長沢京子		
7 渡辺靖夫	浦賀町 6~109	
8 座間美恵子	船越町 3~8	
9 名畑裕	上町 4~50	
10 荒川緑子	上町 1~95	
11 成瀬正明	上町 4~54	
12 岡部ゆき子	三春町 3~32	
13 萩原進一	森崎 4~30-8	
14 高田一夫	三春町 5~1	
15 三好健三	久里浜 1~10~13	
16 長田テ子	上町 3~38	
17 田中紀江	汐入町 3~7	
18 水田三保子	根岸町 5~54	
19 玉城新栄	久里浜 5-3-6	
20 茂木春江	大津町 2~15	

21 茂木秀克	市内 大津町 2~15	
22 床井千鶴子	馬橋町 1~75	
23 松田孝	佐野町 1~9	
24 杉本光男	佐野町 6~35	
25 長谷川ミツエ	久里浜 7~29~11	
26 石渡孝一	大津町 5~88	
27 上当文子	逗子市沼向 2~11~17	
28 黒崎信幸	桜山 3~5~20	
29 黒崎澄子		
30 三枝木松三	藤沢市羽鳥 2~12~4	
31 石川篤	逗子市桜山 3~5~28	
32 橋爪登志男	逗子市福祉事務所	
33 清久泰	沼向 6~1084	
34 太田武美	平塚市山下 389	
35 森小市	川崎市渡田新町 2~6	
36 草岡民夫	三浦市南下浦町 1248	
37 三津屋史朗	横須賀市福祉事務所	

昭和44年

横須賀市手話奉仕団『ひまわり会』会則案

No.1

(名称及び所在地)

如強会

第1条 本会は横須賀市手話奉仕団『ひまわり会』(以下「本会」という。)と称し、事務所を横須賀市社会福祉会館内におく。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦をはかるとともに、聴覚障害者の良き友として、お互いの人格の向上を目指すことを目的とする。

(会員)

第3条 本会は手話を習得し聴覚障害者の援助をしようとする人及び会の主旨に賛同する人をもって組織する。

(事業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため次に掲げる事業を行なう。

- (1) 手話講習会。
- (2) 一般市民への聴覚障害者福祉の理解を深める活動。
- (3) 研究調査及び関係機関との連絡調整。
- (4) レクリエーション活動の展開。
- (5) その他必要と認める事業。

(役員)

第5条 本会に次の役員をおく。

会長1名、副会長1名、会計1名、記録1名、会計監査1名

(役員の出出及び任期)

第6条 役員は総会において選出し、任期は1年とする。ただし再任を妨げない。補充により選出された役員は前任者の残任期間とする。

(役員の仕事)

第7条 会長は本会を代表し会務を統括する。副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその仕事を代行する。

(顧問)

第8条 本会に顧問をおくことができる。顧問は会長が総会にばかり委嘱する。

(会議)

第9条 本会の会議は総会及び役員会とする。

総会は年1回とし、臨時総会及び役員会は必要に応じ会長がこれを招集する。

(総会の議決事項)

第10条 総会は次の事項を決定する。

- (1) 会則の改廃
- (2) 事業計画及び予算の審議
- (3) 事業結果報告及び決算の承認
- (4) 役員を選任
- (5) その他重要な事項

総会は会員の過半数の出席によって成立する。

(経費)

第11条 本会の経費は、会費、補助金、その他の収入をもってこれにあてる。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(会計監査)

第13条 会計監査は年1回以上会計を監査し、その結果を総会で報告しなければならない。

(その他)

第14条 この会則に定めるもののほか特に必要と認められた事項は、総会の決定を経て会長が別に定める。

附則

この会則は、昭和45年5月14日から施行する。

「ひまわり会」会計報告 44.11.1~45.4.23

収入	会費	半額分 180×13=2340 1年分 360×20=7200	9,540.-
	寄附金	有志	2,800.-
	入会金	100×41=4100	4,100.-
	純益金	Xマスバ-テ、残金、セリ	6,690.-
			<u>23,130.-</u>
支出	通信費		2,155.-
	テキスト用紙代		1,360.-
	アルバム、色紙代		1,360.-
	私達の手話購入費		1,350.-
	補助金		2,540.-
	歳暮 (会館用務員)		400.-
			<u>7,815.-</u>

収支決算 23,130 - 7,815 = 15,215

未収金 41×360=14760  
14760-9540=5220

残金 15,215 + 5,220 = 20,435

残金は45年度に繰り入れます。

「ひまわり会」45年度予算案

収入	44年度残金	2,043.5-
	45年度会費	6,000.-
	市補助金	30,000.-
		<u>56,435.-</u>
支出	通信費	8,000.-
	会議	6,000.-
	講習	15,000.-
	親睦会	8,000.-
	研究調査	5,000.-
	会則名簿	5,000.-
	予備	7,435.-
		<u>56,435.-</u>

約 5000円

昭和44年

## 横須賀市手話勉強会

### 44年度「ひまわり会」事業報告

- 11月上旬 3月から毎月1回続けられていた講習会では、欠席した場合その分だけ遅れてしまうので受講者のうちから自分達の手でもっと講習会を増やそう、という意見が出、「ひまわり会」が創立された。とりあえず健聴者、ろう者からそれぞれ2名ずつのリーダーが選出され会の運営にあたった。活動方法を毎週木曜日、午後6:30~8:00まで市社会福祉会館で勉強会を用く事とし、現在まで毎回20名前後の出席を得て続けられている。
- 12月19日 市社会福祉会館にて「ひまわり会」主催クリスマスパーティーを開催。関係者30名前後の出席を得て盛大に行なわれた。
- 12月22日 市文化会館で行なわれた衆議院議員選挙の立会演説会に、手話通訳をつけるよう市選管と交渉の結果認められたので、丸山浩路氏に依頼して通訳のお手本を示して働いた。「ひまわり会」関係の人が約30名最初から終るまで熱心に拝聴した。
- 12月29日 会員有志で親睦と体位向上を兼ねて城ヶ島へサイクリングに行った。
- 1月15日 成人式を迎えた「ひまわり会」の関係者に記念品と寄せ書きを贈り成人を祝うと共に、クリスマスパーティーの時のハシリ映画を映写し、パーティーの楽しさを再現した。
- 2月14、15日 鎌倉の学生会館で開催された全日本ろうあ連盟青年部中央委員会及び全国委員会に「ひまわり会」から4名の者が通訳及び記録係として援助した。
- 4月12日 ろう者のグループと「ひまわり会」合同で高尾山ハイクを行なった。前夜の雨にもかかわらず50名前後の出席をかぞえ一日楽しくすごした。

手話勉強会の講習内容及びその方法は、会が創立間もない為にはいろいろなカベにぶつかり迂余曲折があり今も続いている。「ひまわり会」及び手話勉強の発展の為にも体系的な手話勉強方法を今後研究する必要があると思われる。